



# エコ・ファーストの約束

環境先進企業としての地球環境保全の取り組み

令和8年1月14日

環境大臣 石原 宏高 殿

株式会社日比谷花壇  
代表取締役社長

宮島浩也

日比谷花壇は、花とみどりで、人と地域社会、環境へ貢献し、  
日比谷花壇のすべての事業は、  
人・想い・未来に「はなやぎ」をつくることを目指して、  
地球環境の維持・保全に取り組んでまいります。

1 花き業界全体の環境負荷低減を目指して、自らの事業領域と、生産者、流通業者、すべてのステークホルダーとともに環境課題解決に取り組みます。

- ・環境マネジメントシステム「エコステージ」を導入しESG経営を当社の経営基盤とします。
- ・2035年までにScope1・2・3の排出量を2023年比50%削減し、2050年までに「ネットゼロ」を実現します。
- ・自社の事業所において2030年に再エネ50%を達成し、2040年に再エネ100%を達成します。
- ・事業活動で使用するプラスチックを極力削減、または長期使用することで廃棄量を削減。さらに使用するプラスチックに再生品やバイオマスプラスチックを採用し、2035年までに転換率100%を達成します。

2 全国の生産者・産地とともに持続可能な花の生産と流通、販売を実現します。

- ・当社が取り扱う生花は、自社のサステナブル基準に則し、生産者とともに環境負荷低減の生産振興を推進し、環境配慮型生産品の取り扱いを2035年までに50%以上に高めます。
- ・地産地消の促進を図り、2035年までに国産品シェア80%を達成。販売商品のカーボンフットプリントの削減を目指します。

3 全国の公園やテーマパーク、自治体の施設とともに、日本の花文化の高揚と、自然学習、環境問題への取り組みを、市民、ボランティアとともに実現します。

- ・花とみどりを扱う当社が、多くの生活者との接点で植物やフラワーデザイン、商品やワークショップなど自然素材を楽しむことを通じて、環境教育、自然資本の保全活動を提案し、「共感」をもって身近に課題解決に取り組む社会の構築に邁進します。

株式会社日比谷花壇は、上記の取り組みの進捗状況を確認し、環境省への報告ならびに、ウェブサイトなどによる公表を行ってまいります。



HIBIYA-KADAN

すべての明日に、はなやぎを。